

### 所蔵資料の紹介

#### ◆ツィンバロム (CIMBALOM)

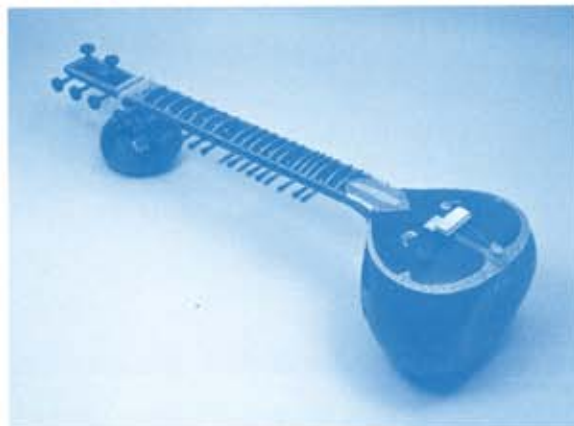
ハンガリー製。ダルシマー属の楽器。一般的には台形の箱を持つものが多い。巻き線弦が全部で35コースあり、高・中音部が4弦(19コース)、中・低音部が3弦(16コース)ある。奏者は弦をばちで打つか指で弾く。ダルシマーは西洋の大衆音楽や民俗音楽、また芸術音楽に使われてきた。東欧、北アフリカ、中央アジア、インド、朝鮮、中国に至るまで広く行き渡っている。本楽器は1981年8月に「シルクロード音楽の旅〈2〉」公演で来日したルーマニアの音楽家ドラギチ氏より寄贈されたものである。(サイズ：幅140cm×奥行75cm×高さ78cm、1900年代製作)



ツィンバロム

#### ◆シタール (SITAR)

インド製。胴体(共鳴用)は、カボチャを乾燥させたものを使用。棹はチーク材。フレットは湾曲した真鍮製のものが20個紐で結びつけられている。演奏弦7弦、共鳴弦13弦。演奏は爪(ミズラップ)にて演奏する。シタールの起源はペルシャの「セタール」であり、改良が加えられたものと見られる。シタールは1960年代から広く知られるようになり、南アジア以外でも奏法が学ばれるようになった。(サイズ：全長130cm、1900年代製作)



シタール

## 事業報告

平成20年(2008年)は次の事業を遂行した。

### 1 音楽資料の収集・保存

音楽図書資料(和書・洋書)749冊、逐次刊行物60タイトル、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等)886点、視聴覚資料(CD、DVD等)212点を収集。

### 2 古典ピアノ、自動演奏ピアノ、オルゴール、民族楽器の収集と“常設展示”

●「古典ピアノ室」では、当館所蔵の古典ピアノ等(16～20世紀)を展示、当館スタッフが解説・演奏、また自動演奏ピアノを実演した。

●「オルゴール室」では、オルゴールの歴史を概観できる代表的機種とストリート・オルガンやオートマタを展示し、実演と解説を行った。

●「楽器展示室」では、世界各地の代表的な民族楽器(約100点)を体系的に分類展示。太鼓やスティール・ドラム、木琴等には自由に触れて音も出せる展示法も行った。また、資料の演奏法等をパソコンで説明・紹介した。



古典ピアノ室

### 3 企画展示の開催

#### ①「弦鳴楽器の世界」展

開催期間/平成20年1月1日—6月29日



弦鳴楽器の世界

来館者数/46,815人

当館が所蔵する多彩な民族楽器の中から、主旋律を奏でる華やかな“弦鳴楽器”にスポットを当てて企画展示。リュート属、ハープ属、ギター属などに分けて63点を紹介。有史以来人類とともにあった民族それぞれの音楽の豊かな響きを想像し楽しんで頂いた。



## ②「子どものための楽器展」

開催期間／平成20年7月5日—9月28日

来館者数／18,316人

世界各地の興味深い民族楽器を“気鳴”“膜鳴”“弦鳴”“体鳴”の4つの性格に分け、実際に見て、触って、音を出して楽しめる楽器展示を開催。多くの子ども達に各国のユニークな楽器を一つひとつ手に取って楽しむこともできる機会を提供した。



子どものための楽器展

## ③民音創立45周年記念特別展示

「ピアノ誕生300年」展（同時開催：「民音文化交流史」展）

開催期間／平成20年10月11日—平成21年7月12日（※好評につき会期を延長しています。）

来館者数／25,736人（平成20年末迄）

1709年にバルトロメオ・クリストフォリ（イタリア）がピアノを発明してから300年。その歴史と楽器の魅力を、当館所蔵の古典ピアノ演奏や自動演奏ピアノの実演、また写真パネル等で紹介。明治・大正期の国産ピアノの併設展示に加え、ジャズ界の巨星ハービー・ハンコック氏愛用のグランド・ピアノ（スタインウェイ社製）も特別に展示し演奏を披露した。

〔協力：横浜市歴史博物館、武蔵野音楽大学楽器博物館〕



ピアノ誕生300年



民音文化交流史

## 4 文化講演会の開催

### ◇「<sup>いと</sup>絃の音色で訪ねるシルクロード」

世界の民族楽器に精通している若林忠宏氏が、シルクロードが結ぶ国々での民族音楽体験談や土地の師匠に教わった楽器演奏修行のエピソード等を紹介。自身シタール、ルバープ等を弾き語り、異国情緒いっぱいの楽しい音楽空間を生みだした。

講師／若林忠宏 (民族音楽研究・演奏家)

開催／平成20年3月19日(水) 民音音楽博物館・ミュージアムホール 参加者数147名

平成20年6月8日(日) 民音音楽博物館・ミュージアムホール 参加者数128名



絃の音色で訪ねるシルクロード (3月19日)



民族楽器シタールを手に熟っぽく語る若林忠宏氏



## 5 教育支援事業の推進

### ①「子どものための手作り楽器音楽体験学習&音楽会」(3日間 計5回)

◆講師/村瀬弘行と音楽の仲間たち

開催/平成20年3月30日(日)民音音楽博物館・ミュージアムホール

参加者数204名

◆講師/池田邦太郎、斉藤明子

開催/平成20年8月2日(土)、3日(日)民音音楽博物館・ミュージアムホール

参加者数218名



お母さんと共に“マリンカン”作りに余念がない子どもたち  
(池田邦太郎、斉藤明子)

### ②「総合学習」

高等学校2校、中学校14校、小学校2校、計18校218名の総合学習及び修学旅行生への見学学習支援を行った。

### ③「学芸員研修生受入れ」

[学芸員博物館実務研修生]

静岡大学他、計7大学の在学生11名の方々から学芸員資格取得のための研修希望があり実施した。

[学芸員見学研修生]

宮城学院女子大学11名、昭和音楽大学19名、駒沢大学20名、計3大学、50名から見学研修の希望があり実施した。

### ④「大学ゼミ/教師等見学受入れ」

・慶応義塾大学、昭和音楽大学、明治大学、愛知淑徳大学、法政大学、アメリカ・セントジョセフ大学等

・八千代市小学校音楽教師一行、港区音楽教師一行等

計175名より見学研修の希望があり実施した。

## 6 関係諸機関との相互協力活動

音楽図書館協議会、日本図書館協会、日本博物館協会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター等との芸術学術的協力活動を展開し、その活動の援助を行った。

## 7 博物館来館者

平成 20 年 総計 90,945 名、平成 9 年 9 月開館当初からの累計来館者数は 1,305,798 人

### ①「団体及びサークル」

各種団体・サークル計 185 名の見学希望があり実施した。

### ②「特別見学・その他」

国内外の公的機関関係者、教育関係者、アーティスト、文化人、マスコミ関係者等計 2,080 名の見学希望があり実施した。

### ③「一般来館者」

一般来館者、計 88,226 名が来館見学した。

## 8 音楽ライブラリー事業活動

### ①楽譜、図書、視聴覚資料の閲覧・貸出・視聴

平成 20 年は開館日数 150 日間、10,694 名の音楽ライブラリー利用者（来館者）に資料の閲覧、貸出、視聴を実施。

### ②レファレンス（質問、調査依頼への回答対応）

年間 2300 件以上の電話やメール（文書）による調査依頼に応じた。

（昭和 49 年 11 月 開館以来の利用者累計は 382,373 名

平成 20 年 12 月末現在の個人登録者数 49,999 名、団体登録数 5,495 団体、2008 年 Webopac へのアクセス数 380,893 件）



音楽ライブラリーの利用光景

## 9 出版活動

①「民音音楽博物館だより」（平成 20 年春・夏・秋・冬 各号 計 4 回）

②「館報」（平成 21 年 3 月 第 5 号）

③企画展・展示案内：「弦鳴楽器の世界展」「子どものための楽器展」  
「ピアノ誕生 300 年展」



## 今後の事業予定

### ■音楽資料の収集・保存

楽器、音楽図書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存ならびに活用。

### 1 楽器等の常設展示の開催

古典ピアノ室、オルゴール室、楽器展示室等で、それぞれの資料を展示。

### 2 企画展示の開催

#### ①「こどもの楽器展」

開催期間 平成21年7月18日(土)～9月13日(日)

夏休み恒例の親子で楽しめる企画展。実際に見て、触って、演奏できる世界の民族楽器を一举に公開展示。子供達の音楽世界への関心と興味が大きく広がります。

#### ②「子守歌の世界」展

開催期間 平成21年9月19日(土)～12月13日(日)

日本人の心から近年忘れ去られつつある「子守歌」にスポットを当て、未来からくる地球への使者、赤ちゃんとお母さんへの讃歌を贈る特別展。

#### ③「ショパン生誕200年記念展」

開催期間 平成21年12月19日(土)～平成22年3月28日(日)

ピアノを通して珠玉の音楽を世に溢れさせた、希代の作曲家・ショパンの“生誕200年”を記念して企画展示を行い、その天才音楽家の偉業を辿ります。



キューバの楽器 ギロを奏する子供  
——「こどもの楽器展」より(平成18年開催)

# 所蔵資料

## ■所蔵資料概数 (平成 20 年 12 月末現在)

- ①古典ピアノ・自動演奏ピアノ・オルゴール等 66 点
- ②民族楽器 620 点
- ③視聴覚資料 12 万点
- ④楽譜 4 万 5 千点
- ⑤図書 3 万 3 千冊
- ⑥自動演奏ピアノ用ロール / 1, 133 巻
- ⑦オーケストリオン用ロール / 114 巻
- ⑧ミュージックボックス用ディスク / 212 枚
- ⑨美術品、写真等の音楽関連資料 11 万点

## 民音音楽博物館館報 第 5 号

発行日：平成 21 年 3 月 16 日

編 集：財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館

〒 160-8588 東京都新宿区信濃町 8 番地

Tel 03-5362-3555 Fax 03-5362-3556

Homepage <http://museum.min-on.or.jp/>

E-mail [m-lib@min-on.or.jp](mailto:m-lib@min-on.or.jp)

